

学校再編だより

鶴巻小学校

— 第6号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和7年1月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

鶴巻小学校地域検討会議の検討結果

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することは「賛成」
統合校の位置について、嚶鳴小は「反対」
旧海上中跡地は「概ね賛成」

12月17日（火）午後6時30分から海上公民館第一研修室において、第5回鶴巻小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、鶴巻小学校地域検討会議としての検討結果をまとめた報告書（案）について最終確認をしました。

旭市学校再編基本方針に対する地域の検討結果として、3校の統合自体は賛成だが、嚶鳴小を活用することは反対、旧海上中跡地であれば概ね賛成ということになりました。

そのほか委員からの提案で、現海上中学校の北側農地が統合校の場所として望ましいという意見が多数ありました。

今回の会議をもって、鶴巻小学校地域検討会議は終了となります。

今後は、各地域検討会議の代表者からなる代表者会議を設置し、それぞれの検討結果を持ち寄り、最終的な「再編の可否」「統合校の位置」等について審議します。

※ほか2校の地域検討会議の検討結果

【滝郷小学校】

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することは「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小は「反対」、旧海上中跡地は「賛成」「反対」の意見が分かれた

【嚶鳴小学校】

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することは「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小と旧海上中跡地のいずれも「賛成」「反対」の意見が分かれた

第1回代表者会議開催予定 日時：令和7年1月27日（月） 午後6時30分～

場所：海上公民館 第一研修室

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

【検討の経緯と理由】

鶴巻小学校は、明治22年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校であるが、近年の少子化で児童数は令和6年度には85名となり、さらに減少していくことが見込まれている。

会議の中では、今後の児童数減少を考えると統合はやむを得ないという意見が多数であり、鶴巻小学校、滝郷小学校、嚶鳴小学校を1校に統合することに「賛成」となった。

統合校の位置：嚶鳴小学校

嚶鳴小学校を統合校として活用するには敷地が手狭であるという意見が多く、周辺の交通渋滞も危惧される。また、校舎の耐用年数を踏まえると、今後掛かる建設費用を先送りにしているだけであり、建設費の目安として示された10億円よりも改修工事に金額が掛かる可能性もあるため、それだけ費用を掛けるなら新しい場所、新しい校舎でスタートさせたいという理由などから、統合校の位置を嚶鳴小学校にすることには「反対」となった。

統合校の位置：旧海上中学校跡地

旧海上中学校跡地を統合校の位置とすることは、すでに十分な面積の敷地が確保できているため早く統合できるが、周辺道路の安全対策が必要という意見があった。海上中学校北側農地が不可能なら仕方がないという理由などから「概ね賛成」となった。

委員提案

統合校の位置：海上中学校北側農地

旭市学校再編基本方針では候補地としていない場所だが、委員より統合校の位置として提案があった。会議の中では、近隣に中学校や公園等があるため駐車場が十分に確保できる、立地的にも地域の中心にあるため3校の児童が平等に通学できるという理由などから、多数の委員が候補地として一番に望んでいた。

